



茅小だより

令和2年10月後期開始号

茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校

校長 阿部 知宏

教育の重点：『心を育てる教育・確かな学力・環境教育・SDGs』

重点目標：【めざす子ども像】『思いやり（命）・協力・学びに向かう姿勢』

【教師のスローガン】

「挨拶・丁寧・迅速・チーム意識」

今日から後期が始まります。

10月12日より後期がスタートしました。今年度は秋休みもなく、通常の土日を挟んでの後期のはじまりなので、切り替えが難しいところもありますが、是非とも、前期の反省を踏まえ充実した時間を過ごしてほしいと思います。

10月9日（金）前期終了、12日（月）後期開始のお話朝会のお話。

10月9日のお話朝会では「ごめんなさい」と謝ることについて話しました。コロナ禍によるストレスや人間関係（友人や家族間等）によるストレスにより「イライラ」してしまうと、つい「喧嘩」になってしまふことがあります。「喧嘩」になると言葉遣いや態度が荒くなり、喧嘩の原因とは別のところで新たな問題が生まれます。その新たな問題も含めて「言い方を含めて、あの時の〇〇と言ってしまったこと、〇〇の様な態度をとってしまったこと」に対して、「ごめんなさい」と相手に伝えることの大切さについて話しました。その際、謝ることには「勇気がいる」こと、「表面的ではなく素直に心からの気持ちを伝えること」、同じ間違いを繰り返してしまうと「謝罪が嘘」になってしまい、周囲からの信頼を失ってしまうことを話しました。

10月12日のお話朝会では、「時間は限りがあること」「コツコツと継続することの大切さ」等について話しました。大きな目標を掲げるよりも、今できることを続けられたことで、自分に対して少し自信が持てるはずであり、そんな自分を前よりも好きになることができるのではないかと、そして、そんな自分に出会えれば「(自分の)心が温かくなる(安心する)」ことにつながるはずである、というような話をしました。

是非、ご家庭でも話題にしてください。

個人面談のご協力、ありがとうございました。

10月初旬の個人面談へのご協力誠にありがとうございました。前期は一度も授業参観や懇談会を開くことができませんでしたが、後期は、それらの持ち方について改めて検討し連絡を差し上げます。

素晴らしい！…しっかりとした児童の意見に心が揺さぶられました。

9月末か10月の初旬の休み時間に女子児童3人が校長室に来ました。1人の児童が私に話した内容は、「既に授業では班の形にして話し合い活動を行っているのですが、給食も班にして食べても良いのではないかと？」というものだったと記憶しています。私は「確かに授業での班活動は行われていますが、その回数や活動時間は短いはずですが、給食の時間は（それなりに）長い時間ですよね。」と説明しました。するとその児童は「短い時間でも（給食時、一時的に）班にすることはできないでしょうか？」と言いました。私は、食事中に机を動かすことは、埃が舞ってしまったたりするので、好ましくありません。ですから、一度を動かしたら（班の形にしたなら）その時間はそのままいてほしいと思います、と答えました。その児童との会話

裏面あり

はそこまででしたが、私の心には何か引っかかるものが残りました。

それは、2つ目の説明について、間違いではないけれども、その理由付けは必ずしも説得力があったとは言えないのではないかと自分自身で感じていたからです。後から思えば、給食の班による食事は、マスクを外した状態であり、授業での班活動とは大きく異なっているのですが、その説明の際には、そのことには触れませんでした。

その理由は、その児童のスマートではっきりとした意見を聞いたことで、私自身が一種の「あせり」の様なものを感じていたからの様に思います。いずれにしろ、その児童の「自分の意見を事実関係を基にしながら、理由を添えて伝える力」や「相手の説明を聞いて、切り返す力」の素晴らしさに感心するとともに、大きく心が揺さぶられました。

ここ数年、茅ヶ崎小学校では校内研究として「対話を重視した学習」を進めてきました。その成果が表れたのかどうかは分かりませんが、茅ヶ崎小学校の子どもたちの素晴らしさを再認識した出来事でした。

…続き…貴重な意見として、大切にしたいと思います。

保護者の皆様のご意見も含めて、1つの意見の背景には、その何倍もの人の思いが詰まっていると想像することが大切だと思っています。その意味では、先ほど紹介した「給食を班で食べたい」との児童の思いは何十人、何百人の児童の声として、しっかりと受け止めなければならないと思います。

先ほどの児童の意見は、コロナウイルスの影響で様々なことの取り組み方を変える必要に迫られている現在、例年通りのようにマンネリ化したものを刷新する機会と捉えながらも、継続してきたものを守ることの大切さについて再認識する機会となりました。同時に、見えづらい、聞こえづらい子どもたちの「意見や我慢」に、少しでも応えられるような教育環境を整えなければならない責任を痛感いたしました。

巻心 ECO プロジェクト ～テープの巻心を集めて緑の地球を守ろう～ご協力を！

夏休みの前から、今年度の茅ヶ崎小学校の重点目標の1つである「環境教育」として、「巻心 ECO プロジェクト」に参加して、テープの巻心を集めています。11月末には集めた巻心を郵送したいと思います。もうしばらく、回収のご協力をお願いします。

Q 回収した「巻心」はどうなるの？

A 古紙回収業者に買い取ってもらい、段ボールに再生されます。

その利益などを活用し、緑を守る取り組みに役立てています。

例1 マングローブの植樹

例2 島根県江津市の江の川流域での「森のしずく」保全活動に生かされて

います。 …植林や間伐などで森を元気にする取り組みです。

登校時間・下校時刻の再確認をお願いします。

朝の登校時間は1年中 **8:05~8:25** です。矛盾するようですが実際には8:00に昇降口を開けていますが、既にその時間には多くの子どもたちが集まっています。前期の終り頃は、昇降口を開けると競走するかのようダッシュで階段を駆け上がる光景が見られました。この行為は危険を伴いますので、是非とも決められた8:05以降に登校していただける様ご協力をお願いします。(予鈴が8:25に鳴りますので、その時間には校地内いてほしいと思います。)

また、放課後の下校時刻(一度、家に戻ってから学校に遊びに来た時の下校時刻)は、現在16:30となっております。その時刻はまだ、明るいこともあり家に帰らず遊んでいる児童も見られますが、ご家庭でも **16:30には、学校を出ている** ようにお話ください。

